

新幹線地本・成田委員長新聞投稿掲載される!

東 京 新 聞

読者 交論

09.1.28

傍観者では
いられない

社員員 島山 隆史 30
(栃木県那須塩原市)

連日のように報道され、
同じ働く者として、心が
痛む年始を迎えました。
しかし、今の世相を語
る人の中に、それを肌で

「派遣村」に思う

実感している方は、どれ
くらいおられるのだろう
か。その中の何人が、何
らかの行動を起こすのだ
ろうか。
昨年末、日比谷の「年
越し派遣村」に多くのボ
ランティアや支援物資が
集まっていました。もし
て大みそか、会社の同僚
が「派遣村」のボラン
ティアに参加しようと
職場内で発言した。
家庭もある身なのに、
大みそかに行動を起こそ
うとするその同僚の気持
ちに、強い感銘を受けま
した。これまでの私のよ

うに、新聞を読み、現状
を憂えているだけでは傍
観者でしかありません。
現状を憂えるために行
動できなければ、結局は
現状を生み出した者との
共犯であり、加担してし
まっているのかもしれない
せん。今年は、行動でき
る私であることを目指し
ます。

団体連携は 画期的成果

社員員 成田 隆浩 48
(さいたま市大宮区)

遣村」に足を運んだ。集
まっていた人数は、思っ
ていたほど多くはなかつ
た。反応がなく、不発だ
ったのかも思った。
しかし、今回の取り組
みは、「連合」「全労
連」「全労協」の労働三
団体が参加していたこと
に大きな意味があったと
思う。ナショナルセンタ
ーが大労組ばかりのサロ
ンとなって、お互いのイ
デオロギーを掲げて反目
し合っていたはダメだ。
多くのNPO団体や弁
護士グループなどの連
携も実現した今回の取り
組みは画期的であった。
年を越してから、予想
以上の多くの労働者が集
まり、厚生労働省の講堂
を開放させてしまつなど
の、大きな成果をもたら
した。
労働者・人民の団結力
で社会を動かすことが、
可能なのだと思わせる盛
り上がりだった。この後
にもやらねばならないこ
とは多くある。私たちの
団結でこれらの問題を解
決して、さらに、社会を
変えていくという大きな
目標に向かって進もうで
はないか。

社会を動かすために行動し発信しよう!
今こそ労働者・人民は団結しよう!